

# 金剛寶戒寺便り

<http://www.toudaiji.jp>

平成二十八年四月一日発行 第二十五号

檀信徒の皆さまこんにちは。お彼岸も無事に終わり、裏山からは鶯の声が聞こえる様になりました。今年は初めから鳴くのが上手に思います。

三月九日に巡廻布教がありました。新たに椅子を二十脚買い足し、張り切っていたのですが、小雨が降っていたこともあり、三十名足らずの参加でした。お話の後には皆さんで般若心経をお唱えして、お数珠練りをしました。今、本堂には五十脚の椅子を揃えています。足の悪い方にも負担が少ないと思いますので是非ご利用ください。

先月に引き続き「九州ブロック」のご案内です。先月号では三浦雄一郎さんの事をお話しましたが、今回の「九州ブロック」のメインは管長猥下の「お授戒」です。

「授戒」とはその字の如く、戒を授かる事です。今回は「菩薩十善戒」を受けて頂きます。「十善戒」については以前の宝戒寺便りにも記載しましたが、我々仏教信者が日常の生活の中で実践する仏教的規範の事です。

どの戒めも、ごく当たり前の基本的な戒めでは有るのですが、それ故に守るのが難しいです。「菩薩十善戒」を受けると阿闍梨様から「戒牒」（かいちよう）と呼ばれるお札の様なものを授かります。

実は真言宗の葬儀の中でも「授戒」が行われており、私は葬儀の中では「五戒」をお授けしているのですが、自分が亡くなった時に、この「菩薩十善戒」の「戒牒」を御棺の中に入れてもらおうと、生前より仏教徒の模範として精進していたことが認められ、いち早い成仏が叶うと言われています。

これはご縁による授かりものでもありますので、ご本人はもちろん、ご家族やお孫さんも一緒に受けなされると、本当に功德が高いと思います。いずれも記載の会費に千円の補助金を支給させて頂きます。

日にち 七月六日（水）から七日（木）

時間 午前十一時より受付

会場 11chiko 音の泉ホール

会費 一万八千円（聴講・懇親会・宿泊）

一万千円（懇親会まで）

四千円（聴講のみ）

初めての試みになりますが、五月の講習会では自主上映を行います。内容は四組の夫婦が登場するドキュメンタリー型の映画です。妊娠・出産だけでなく、流産・死産、不妊、障害、「子供が親を選ぶ」という胎内記憶など『うまれる』ということ、幅広く捉える事で、出産だけではなく、親子関係やパートナーシップ、男性の役割、そして生きるという事を考える・感じる内容になっております。

私は以前にこの自主上映を他宗派のお寺さんに招待されて拝観いたしました。大分合同新聞や朝日新聞にも掲載されていたので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、全国規模で学校などでも自主上映されている映画です。

当日は結婚前の若い方から年配の方まで幅広く見に来られており、それぞれの立場で「いのち」の大切さや家族の絆を感じておられました。育児に悩みをお持ちの方はもちろん、お孫さんの面倒を見ている方、今どきの若い夫婦の気持ちを知りたい方にもお薦めだと思えます。今回は日曜日ですので、子供さんやお孫さんにも声を掛けて下さるとありがたいです。

日にち 五月八日（日曜日）

時間 十四時から十六時頃まで

場所 金剛寶戒寺 本堂に於いて

自主上映「うまれる」

<http://www.umareru.jp/>

四月八日はお釈迦様のお誕生日です。当山では毎年旧暦にてお祝いをしております。

日にち 五月十四日（土曜日）

時間 午前九時頃より夕方まで

場所 金剛寶戒寺 本堂に於いて

お花まつり（お釈迦様のお誕生日・灌仏会）

甘茶を入れる容器を持参の上お参り下さい。